

第2回教科用図書丹波採択地区協議会 議事録

1 日 時：令和2年7月15日（水曜日） 14時00分～15時45分

2 場 所：やまなみホール（山南農村環境改善センター）

3 出席者：第1号委員 丹波篠山市教育長 前川 修哉
丹波市教育長 岸田 隆博
第2号委員 丹波篠山市教育員会教育委員 酒井 克典
丹波市教育委員会教育委員 深田 俊郎
第3号委員 丹波市人権・同和教育協議会局長 足立 儀明
第4号委員 丹波篠山市立西紀北小学校・きた幼稚園育友会会長 中井 雅斗
丹波市連合PTA会長 西垣 健太郎
第5号委員 丹波篠山市教育委員会学校教育課長 尾松 直樹
丹波市教育委員会教育部次長兼学校教育課長 足立 和宏
第6号委員 丹波篠山市立西紀中学校校長 伊勢 三十六
丹波市立氷上中学校校長 足立 幸広
第6号委員 丹波篠山市立城東小学校教頭 藤本 豊記
丹波市立柏原中学校教頭 藪下 正文
欠席者：第3号委員 丹波篠山市市民生活部人権推進課 森田 恭弘
事務局：丹波篠山市教育委員会事務局 酒井次長・森本課長・大路課長補佐兼係長
丹波市教育委員会事務局 井尻課長・服部副課長兼係長・前川主査・浦川主事

4 調査研究報告

(1) 調査員長より報告

調査研究報告書により、各教科5分程度で調査内容と選定経過を報告
以下、各教科の選定における調査の視点について記載

【国語】

- ・3年間のつながり発達段階に応じたバランスと手引きについて
- ・学習意欲へつなげる工夫がされているか
- ・ICTカテゴリーの充実

【書写】

- ・生活の中でどう生かしていけるかの工夫がされているか
- ・毛筆指導の充実度
- ・細やかな注意事項と説明

【社会】

- ・主体的・対話的な深い学びを意識した課題設定
- ・地元兵庫県の扱い
- ・現代的な課題やSDGsの視点

【数学】

- ・主体的・対話的な深い学びを意識した課題設定
- ・プログラミングに関する内容
- ・一人一台端末への対応

【理科】

- ・写真や図、イラストのレイアウト
- ・扱いやすさ、使いやすさ
- ・これからの時代に求められる手立てが用意されているか

【音楽】

- ・多様な生徒が学びやすいようにユニバーサルデザイン化されているか
- ・主体的・対話的で深い学びの実現のための仕組みがなされているか
- ・合唱コンクールで扱いやすい曲が多いか
- ・兵庫県や丹波地区のことを学ぶことができ郷土愛の育成ができるか

【美術】

- ・生徒が意欲を持ったり、身近な生活から構想や発想する主体的学び
- ・生徒が作品に対してリアルに感じとれるか
- ・地域教材の扱い
- ・教科書の分冊方法

【技術】

- ・生徒たちが興味関心を持って学習に取り組めるか
- ・技能だけでなく知識も十分学習できる内容になっているか
- ・主体的な学びについて
- ・情報技術について

【家庭】

- ・学習指導要領の配列について
- ・「主体的」「対話的」「深い」学びについて
- ・振り返りについてどのようになっているか

【保体】

- ・主体的・対話的で深い学びのための工夫
- ・横断的な学習の充実に工夫
- ・デジタルコンテンツの工夫
- ・図表やグラフ、挿絵、写真等が多く使用されて興味を引く
- ・防災に関する意識の高揚
- ・ユニバーサルデザインに配慮したフォントの使用

【道徳】

- ・客観的に7冊の教科書を読み比べること
- ・配列・分量のバランス
- ・学習指導要領の教育創造プラン
- ・兵庫県・防災・いじめ・人権などの取扱いについて
- ・学び直しについて
- ・「二通の手紙」「足袋の季節」について

【外国語】

- ・ホームページやブログ、メールのやり取りを通して形式や内容の取扱い
- ・何ができるようになるかの can do list が設置されているか
- ・ICTについて
- ・英語の「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）（発表）」「書くこと」について
- ・小学校の振り返りについて
- ・SDG s ・防災について

【一般図書】

- ・使いやすい、分かりやすいかどうか
- ・興味を持てる内容かどうか
- ・多様な学びに対応できるか
- ・楽しみながら学びをつかめるか
- ・身近な生活から取り組める内容や教材となっているか

(2) 調査員長への質疑応答

(委員) 3点伺いたいことがある。1点目は、H28年度の教科書選定理由で英語だと「丹波地域の生徒の課題である基礎・基本の確実な定着」とあるが、そのあたりのことを意識して選定に取り掛かったのか。

次に、道徳教育の中で、選ばれる理由の中に「丹波市において教育研究の取り組みにより、教材分析シートを研究・作成している」ということが、選定する大きな理由になると思います。これは、丹波篠山市と共有されている共通の課題だと思いますが、これを選ばれる1つの視点とされていることについて伺いたい。

続いて、H28年度とほぼ同一の教科書会社だと思いますが、だいたい何年ぐらい同じ教科書を使っているのか、また、教科書会社が変わった時の状況をわかる範囲でお教えいただきたい。

(会長) 1点目の基礎・基本とはどの教科のことか。

(委員) H28年度には英語で丹波地域の課題であるとのことで整理されています。他の教科ももちろん学力状況調査であっても、いろんなところで生徒の課題が出ると思うが、これらの課題に該当するというでももちろん選定理由の説明の中で示された内容も適すると思うが、そのような感じで検討されたのかというような内容を特に学力状況調査を分析された部分を教えていただきたい。

(会長) 2点目の道徳の方からよろしいか。

(道徳) 分析シートの件についてですが、丹波篠山市と丹波市が同時に同じ分析シートを使っているわけではない。旧丹有地域で教材研究を進める中で、教材の分析をきっちり行わないといけないため、分析シートを活用している。

なぜ、これを取り入れたかという、3社の教科書が別冊ノートをつけていて、それが良いか悪いか判断するうえで使わずにそれぞれの分析シートなどで教材を分析するという意味で活用している。

結論を言うと、丹波篠山市と丹波市ともに使っているものではない。

(会長) では、1点目について国語からお願いします。

(国語) 基礎・基本の定着ということで、先程も述べたが選定した教科書会社については、巻末に基礎編というところがあり、短い例文を取り上げその教題で学びたいところがどういうものなのかが示してあり、それをやったうえで、学んでいくということで、分かりやすい。

併せて、先程も言ったが、教科書会社にとってやり方は違うが、手引き的なことで言うと基本的な活動が入っているが、選定した会社につきましては、その活動だけでなく、それに対して「助け」に気を付けながら考えられるので、学びやすい。

(会長) 他教科で何かあるか。

(数学) 反復練習や習熟度別学習に対応しているのかというような新学習システムなどの大きな学習の基礎の定着に向けて選定している。

また、全国学力状況調査でみつかるといった課題の対応などそういった場面を想定して

選定した。

- (理科) 各章に章末問題（振り返り問題）を設定している会社がある。その中で、基本的な問題だけを扱っている会社と発展的な内容を取り上げている会社がある。調査報告ではこの点は挙げなかったが、調査員の意見として、この点についての記述もある。選定した教科書は両方ある。
- (英語) 昨年度の全国学力状況調査での課題として、インプットよりもアウトプットをするために「話すこと」「発表すること」がバランスよく配置している。
もう1点、何ができるようになるかを can do list という形であり、生徒にとっても基礎・基本の定着になる。
- (事務局) 前の教科書の選定替えから教科書会社の方は変わっていないが、H14年度から教科書採択の一覧を見ると教科によっては変わっているところもある。資料を読み上げると時間がかかるので、必要であれば資料を提供する。
- (会長) 他にご質問・意見等ございますか。
- (副会長) 確認したいことがある。社会科の17ページで章が抜けている。歴史の教科書出版社だけ線が引いていない。他とのバランスをとるうえで調整をしたほうがよい。
- (社会) (歴史の) 配列に関しては、組分けて整理している。教科書出版社については特徴がないので書いていなかった。
- (会長) 他にご意見・確認事項はありませんか。
なければ、副会長から意見がありましたが、状況に応じて字句の修正等、会長一任としてよろしいか。

5 令和3年度使用教科用図書協議・選定

●中学校用教科書・一般図書

(1) 委員協議

- (会長) 協議に入ります。ご意見があれば挙手いただき、ご発言ください。
今の報告と自分の思いについて何かあればお願いします。」
- (委員) 丹波地域の統一的な課題に対応できているかという視点において、丹波篠山市においては、学力状況調査でほぼ一般的なレベルを維持している。丹波市についてはわからないが、学力状況調査などをふまえ、これまで使用していたからではなく、「しっかりと対応できる教科書を選んだということが説明できるのか」と思い、先程は質疑をした。
- (会長) 今、言われましたように前回そうだったからではなく、課題に即したものである。そう言った意味では、先程、各調査員長に返答していただきました。学力状況調査だけではなく、丹波市、丹波篠山市が抱えるそれぞれの課題を網羅して、選定されているという報告だったと思う。

(2) 選定

教科書発行会社を一括して委員に賛成の挙手を求め、全員一致で調査研究により選定された教科書を協議会においても選定することで決定した。

【選定教科書】

国語	選定教科書	東京書籍株式会社
書写	選定教科書	教育出版株式会社
社会		
(地理的分野)	選定教科書	株式会社帝国書院
(歴史的分野)	選定教科書	日本文教出版株式会社
(公民的分野)	選定教科書	日本文教出版株式会社

(地 図)	選定教科書	株式会社帝国書院
数 学	選定教科書	株式会社新興出版啓林館
理 科	選定教科書	株式会社新興出版啓林館
音 楽	選定教科書	株式会社教育芸術社
美 術	選定教科書	日本文教出版株式会社
技 術	選定教科書	開隆堂出版株式会社
家 庭	選定教科書	開隆堂出版株式会社
保健体育	選定教科書	大日本図書
道 徳	選定教科書	光村図書出版株式会社
外 国 語	選定教科書	東京書籍株式会社
一般図書	選定教科書	兵庫県教育委員会の調査研究資料と文部科学省発行の資料を参考に、 各教科合計 367 冊を選定

選定結果に基づき、丹波市教育委員会及び丹波篠山市教育委員会に通知する文面の説明を事務局より行い、各委員が確認し了承する。

6 その他

事務局より事務連絡を行う。